



▲市美術館で展示中の作品の前で

そして48歳のときに20数年間の教員生活にピリオドを打ち、水彩画家の道へと進みます。あべさんの作品が認められる

水彩画家として活躍しているあべとしゆきさん。風景画の透き通るような描写は、そこに吸い込まれていくような感覚を覚えます。大学を卒業後、デザイナーとして新聞社に入社。その後、県内で美術教師になります。教員時代は多忙で、思うように絵を描く時間がありませんでした。「40歳のときに、冊子『やまがた教育』の表紙の絵を頼まれたのですが、これが楽しくてしょうがなかった」と、絵を描いていきたいと思ったきっかけを話してくれました。

教員から画家へ



さかたの 風

今月の人

Abe Toshiyuki
あべ としゆき さん(山谷)
水彩画家

のに時間はかかりませんでした。「幸いにも、水彩画を描き始めて、自分の画をインターネットに掲載したところ、国内外の出版社から作品掲載の依頼が来しました」

現在の活動は主に個展ですが、スペイン、中国、タイ、メキシコの国際水彩画展にも出品。4月には南フランスの展覧会に招待されました。また東京などで講師を務めるカルチャー教室は全て満員だそうです。東京の丸善・丸の内本店で行ったあべさんの出版記念展では、1週間で800冊を売り上げた記録も。

絵は鏡

「絵を描くことで周りの見え方が変わってきます。絵は鏡というように見る人で見え方が違います。自分がそこに映ってくるし、見ようとしなると見えないものだと思います」と絵に対する思いを語ります。

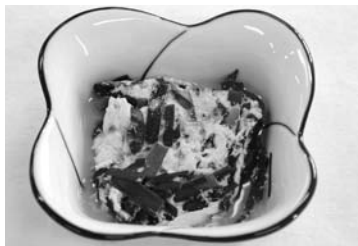
「水彩画では、光や透明感を私は大事にしています。これからも、多くの人に作品を見てほしいですね」と、あべさんの画風のように爽やかな笑顔で話してくれました。

●あべとしゆき氏の作品は酒田市美術館特別展(4月19日まで開催)で川岸富士男氏の作品と併せて展示されています。ぜひご覧ください。

旬の食材を使った料理を酒田市食生活改善推進員が紹介します

酒田の旬 12

たまに卵



今では1年中見かけるニラですが、春のニラは葉が柔らかく、独特の香りが際立ちます。ニラの緑と卵の黄色の鮮やかな色彩をお楽しみください。

【材料】(4人分)

- ・ニラ.....1束(100g程度)
- ・卵.....2~3個

- A ・だし汁.....200cc
- ・砂糖.....小さじ1+1/2
- ・しょうゆ.....大さじ1

【作り方】

- ①ニラは水でよく洗い、3センチ幅に切る。
- ②鍋にAを入れて煮立たせ、沸騰したらニラを加え、ひと煮立ちさせる。
- ③卵を溶き、円を描くように回し入れる(絶対にかき混ぜない)。
- ④ふたをしてから火を止め、蒸らす。

食生活改善推進員からの



フライパンを使い、卵を溶かずに割り入れて巣ごもり風にもできます。

東北公益文科大学

キャンパスレポート 36

大学女子サッカー地域対抗戦を終えて

小鹿 莉奈(2年)

私は、2月に兵庫県で行われた「大学女子サッカー地域対抗戦2015」に北海道・東北代表チームの選手として参加しました。各地域で選抜された選手が集まる高いレベルの大会です。

大会では対戦チームはもちろんのこと、チームメイトの高い技術を目の当たりにし戸惑うこともありましたが、次への目標へ向け技術的、戦術的課題を見つけることができました。

本学女子サッカー部でも、昨シーズンに身に付けた技術、戦術、チームワークを生かし、今シーズンの全日本大学女子サッカー選手権大会出場を目標に、さらに練習に励みたいと思います。



▲北信越選抜戦での小鹿さん(右)

園東北公益文科大学広報担当 ☎41-1117

おしごと拝見

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。

vol. 24



株式会社ニットレ酒田事業所



製品設計・開発担当 池田 多さん
購買担当 池田 麻紀さん(写真左)

トレーラーを支えるニットレ製品

当社は、輸送用トレーラーを支えるための補助脚や車軸、サスペンションなどの製造を、設計から加工、組み立てまで一貫して行っており、国内外の多くのトレーラーメーカーに採用されています。

特に重量物の運搬や過酷な環境下での使用に高い耐久性を求められる特殊トレーラーの部品では、国内シェアの5割近くを占め、防衛省の特殊車両にも使用されています。

設計者自ら海外の現場へ

自動車業界では更なる軽量化と強度の向上という、相反する課題の解決が求められています。このような中、業界内でも先発の当社は、これまで長年培ってきた設計を含めたエンジニアリング力を生かして、メーカー側の要望に日々応えています。これに加えて、設計者自らが国内外の現場に赴き、製品の使用状況や利用者の要望を直接確認することで更なる改良に努めています。

今後、酒田事業所では、補助脚に使用するアクチュエーター(補助脚を上下させる動力装置)の製造、愛知県にあるメンテナンス部品供給センターの集約なども予定しています。

【企業の概要】

沿革 昭和26年 愛知県名古屋で佐藤鉄工所設立
昭和42年 トレーラー部門事業拡大の為、グループ会社ニットレを設立
昭和51年 宮海にて(株)佐藤鉄工所酒田工場操業開始
平成3年 古湊に移転、トレーラー補助脚の生産を開始
平成20年 (株)ニットレ酒田部品センター開設
平成26年 (株)ニットレ酒田南工場を取得
株式会社ニットレ
資本金 4,000万円
◎酒田事業所
住所 酒田市古湊36-36 ☎34-2515
代表者 取締役常務執行役員 酒田事業所所長 遠田 茂
従業員数 35人(株)佐藤鉄工所含む
事業内容 トレーラー向け部品の製造・卸売
ホームページ <http://www.satoh-gr.co.jp/nittre.html>



トレーラー用車軸の組み立て



補助脚の荷重試験

トレーラーを切り離す時の支持装置です。当社の製品は、軽い力で補助脚の操作が可能です。入念な検査を行い出荷します。

婚活コラム

結婚という選択 1

●お問い合わせ／市結婚サポートセンター(交流ひろば内) ☎2615612

結婚サポートセンターって、どんなところ？

あなたの周りにいませんか？結婚したいのに結婚できない方、出会いの場がないと言っている方、異性との会話が苦手な方。

本市では、人口減少が大きな課題となっています。その対策の入り口となる「結婚」をサポートするために、平成26年4月に、酒田市結婚サポートセンターを開設しました。

センターでは、大きく分けて3つの業務を行っています。
1つ目は、結婚サポーター(仲人)による仲介です。市に登録した結婚サポーターが、出会いから成婚まで親身になってお手伝いします。

結婚サポーター登録者は、ホームページから簡単に検索することができます。現在、結婚サポーターはホームページ非公表者を含め、72人で活動しています。

2つ目は、婚活イベントの開催

です。昨年度は、楽しくおしゃべりしながらコミュニケーション能力をアップする料理教室を開催しました。本年度も単なる出会いの場にとどまらない楽しい企画をお届けする予定です。期待してください。

3つ目は、相談窓口の設置です。結婚推進員が結婚に関する相談に応じています。結婚を希望する本人だけでなく、結婚に前向きにならない方や家族の方からの相談にもお応えします(要予約)。

センターでは、こうした結婚を希望する皆さまなどのお役に立つよう努めていますので、気軽に相談してください。

今回は結婚における「待ち受け状態」についてお話をします。

